

# Kandai Style

2020.1 Vol.480  
関西大学通信



## 関大生の地域連携活動

## 大阪府池田市

### 「関関COLORS」

商学部3年次生 川長 秋 さん  
経済学部3年次生 榎木雄登 さん



#### 自分たちで考え、ユニークな事業を展開する

関関COLORSの設立は2010年6月。池田市栄町商店街の活性化を目指す池田市と、取り組みに合意した関西大学・関西学院大学が連携し、両大学の学生が団体を立ち上げました。

設立目的は、両大学の学生がそれぞれの色を発揮しながら、池田市の活性化に貢献していくことです。主な活動は、①子ども預かりサービス②店舗貸し出しサービス③お祭りなどのイベント事業の3つですが、今年から新たに「子ども学習サービス」を開始しました。夏休み限定のサービスでしたが、夏休みの宿題に取り組む子どもたちを大学生が教えるかたちで行い、大変好評でした。

1年間の最大イベントは「夏祭り」。開催前には、商店街組合をはじめ市役所、警察署等へあいさつに出向き、多くの人の協力を仰がなくてはなりません。「お祭りを成功に導けた時は、本当に地域に貢献できていると実感しました」と川長さん。また榎木さんは「ビンゴの時は、150人ほどの方が詰め掛けて商店街がにぎわいました」とうれしそうに語りました。2人とも地域活動を通して、自分自身の成長を感じているようで、自信あふれる表情が印象的でした。

今年は関関COLORSが活動を開始して10年目。COLORSの課題として、川長さんは「地域を活性化することにゴールはありません。これまでと同じことをするのではなく、自分たちで考え、面白いことを実行してほしい」、また榎木さんは「これからも今後の参考になるデータを残していきます。これが将来のCOLORSにとって貴重な資料になるはずですよ」と後輩たちに話しています。最後に、2人から「私たちと一緒に活動をしませんか。興味を持たれた方は、阪急池田駅北口の栄町商店街にぜひお越しください」とメッセージがありました。



メンバー募集中!

関関COLORSで活躍する川長さん(左)と榎木さん(右)



子どもに教える大学生



夏祭りのオープニング

2019年10月開催の「子ども食堂」の様子



左から鎌谷さん、福田さん、中釜さん、西久保さん



## 大阪府堺市

### 「子ども食堂」人間健康学部・安田忠典教授ゼミ

#### 「学生だからできることをしたい」子どもたちに新たな居場所を。思い切り遊べる子ども食堂

子ども食堂は、家庭と小学校以外に子どもの居場所をつくることを目的に、2018年12月、堺キャンパスでスタートしました。主な活動内容は、対象となる堺市立浅香山小学校の児童と保護者、地域の方々およびスタッフ約100人分の食事の材料の買い出しと調理、そして児童と遊ぶことです。

中心メンバーは、人間健康学部の安田忠典教授ゼミに在籍する、4年次生の鎌谷浩二さん、中釜悠花さん、西久保璃子さん、福田優太さんの4人です。

福田さんはこの活動に参加を決めたきっかけを、「いくつかあった候補の中で、子ども食堂は安田ゼミとして初めての取り組み。新しいことに挑戦してみたいと思いました」と話します。

「工夫しているのは、大学生だからできることをするという。大縄やしっぽ取りのようなレクリエーションを、子どもたちと一緒に2時間思い切り楽しみます」と鎌谷さん。

中釜さんは活動のやりがいについて、「ごはんを“おいしい”と言って食べてくれたり、おかわりしてくれたりした時には“やった!”とうれしくなります」と笑顔で話します。西久保さんは、参加する小学生の「ここはぼくの第二の故郷や」という何気ない言葉を聞いた時、「子どもの居場所をつくる」というやりたいことが実現できていると実感できました」としみじみと語ります。

現在のメンバーで開催できる子ども食堂は残すところあと3回(取材時)。地域に根付いてきた活動を、「次の学年にうまくつなげていくことができたらうれしい」と全員が声をそろえて話しました。



関西大学では、30を超える自治体などと「地域連携に関する連携協力協定」を締結し、連携講座や共同研究プロジェクト、地域活性化事業などを  
行っています。  
今月号では、これらの連携協力協定のもと、地域連携活動に取り組む学生にインタビューを行いました。

## 兵庫県養父市 「特産物で町おこし」

### 環境都市工学部・山本秀樹教授研究室

#### ハバネロでイノシシやシカと「さようなら」

関西大学は「国家戦略特区(農業特区)」に指定された兵庫県養父市と2014年8月、産業振興や地域づくりなどで協力する連携協定を結びました。協定締結のきっかけとなったのは環境都市工学部・山本秀樹教授の研究室の活動です。

活動の狙いの一つは「より付加価値の高い新しい農作物を加工して商品化する」で、例えば特産のハバネロ。この開発を担当した中心メンバーの一人が藤原暢之さん(理工学研究科博士課程後期課程3年次生)です。

ハバネロは地元の特産物、唐辛子の「親戚」。藤原さんは養父市の隣の朝来市出身で「養父の唐辛子は昔から有名で、これを使った新しい商品を作るのは町おこしにぴったり」と感じ、研究に没頭しました。ハバネロや地元の玄米を使ったドレッシングやソースを商品化。さらに研究室では、地元の農業法人などと協力し、ハバネロに含まれる辛味成分のカプサイシンが、イノシシやシカなどから畑を守るのに役立つのではないかと研究を始めました。養父市によると市内の獣害は2018年度で年間2,500万円に上るといいます。

藤原さんはカプサイシンの効率的な抽出を目指し、半年間さまざまな試行錯誤を重ねた結果、目指す溶媒を見つけました。2018年度の現地での実証実験で、ハバネロ液の噴射でシカやイノシシ、小動物に効果があることが分かり、2019年度にはこれを使った害獣撃退機が九州や東北のゴルフ場に採用されました。

藤原さんは「動物には嫌われるけど、植物や土壌には無害という視点は、他の商品作りにも通じる」ことを学んだといいます。大学院卒業後は化粧品メーカーで、肌に優しい商品の開発に取り組むそうです。



「やぶマヨ」

「但馬トマトハバネロドレッシング」

養父市で視察を行う山本教授(左)



# 東京オリンピック・パラリンピックの経済効果

東京オリンピック・パラリンピック(以降はオリンピックと単純化)の開幕まであと6カ月。新国立競技場は昨年11月に完成し、春には全国各地で聖火リレーが始まります。またチケット販売も順調であると報じられるなど、オリンピックムードはますます盛り上がって行くことでしょう。

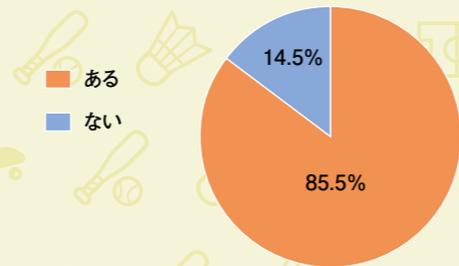
そこで今月号の関大誌上教室では、「東京オリンピック・パラリンピックの経済効果」をテーマに、皆さんにオリンピックへの関心度、観戦方法をはじめオリンピックに対して思うところを尋ねました。そして、宮本勝浩名誉教授に過去のオリンピックの経済効果と比較しながら、経済効果の意味するところを解説してもらいました。



## 東京オリンピックの経済効果に関する意識 調査アンケート

アンケート期間2019年10月21日～11月18日  
対象者：学生 回答者数：117人

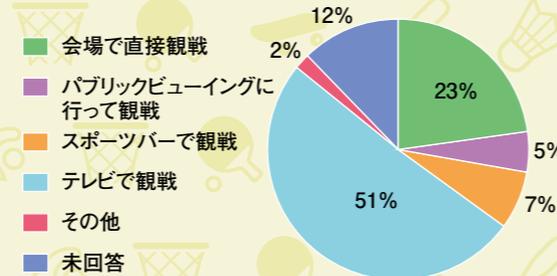
### Q1 東京オリンピックに関心はありますか。



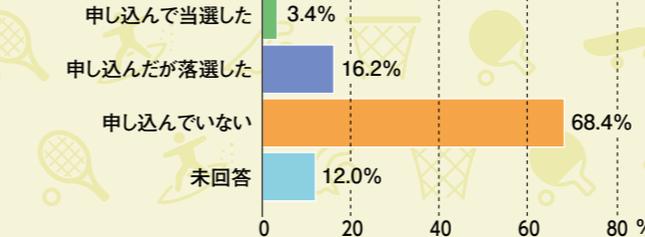
関大生で東京オリンピックに関心のある学生は100人(85.5%)。ほとんどの学生がオリンピックに関心があると回答しています。

一方、関心がない学生にオリンピック以外に興味があることを尋ねると、「留学」「就職活動」「研究活動」など、自分のキャンパスライフに関する回答があれば、「将来の年金収入と現在の資産運用」「大阪万博」「豪雨被災地の復興」「高大接続入試の行く末」などの回答も見受けられました。また調査の開始時期が10月中旬であったことから、ラグビー日本代表の快進撃からW杯に興味があるという回答、NBAの八村、渡邊両選手の動向が気になるという回答が多かったのも今回のアンケートの特徴でした。

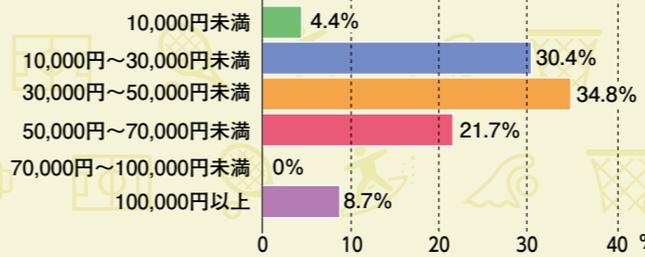
### Q2 東京オリンピックの観戦方法を教えてください。



### Q3 東京オリンピックの観戦チケットを申し込みましたか。



### Q4 東京オリンピックのチケットの申し込み金額を教えてください。(「申し込み」方のみ回答)



観戦チケットは、昨年12月18日に2次抽選結果が発表されました。非常に人気が高く、なかなか当選しないと報道されていた中、2次申し込みの際には、わざわざ1次申し込みの傾向を発表して、比較的当選しやすいチケットの状況を公表していました。

そこで、関大生のチケットの1次申し込み状況、当選状況を尋ねました。まず、申し込み学生は23人で、19.6%(未回答者を除くと22.3%)で、5人に1人が申し込みになりました。その中でも当選した学生はわずか4人。全体から見れば3.4%の狭き門となりました。一方、関大生がチケットを申し込み金額は1万円～7万円未満で86.9%(20人)とほとんどの学生がこの間の金額で申し込みをしていることが分かりました。

Q2の「会場で直接観たい」と回答した学生が27人(23%)でしたが、Q4のチケット申し込み金額の質問では実際に申し込み学生が67人と判明するなど、やはり現地の雰囲気を感じながら観戦をしたいという学生の気持ちが表れているようです。

## 東京オリンピックについて思うこと

オリンピックが行われる際は日本の景気は良くなると思うが、終わってから不景気になってしまったら怖いと思う。自分はオリンピックの次の年から就活を始めようと思っているため、影響が出ないか心配である。(文学部1年次生)

このご時世では難しいのかもしれないが、あまりお祭り気分になっていないし、すごく歓迎ムードかと思えばそうでもないと思った。(理工学研究科D1)

マラソンの開催地が札幌に変更になる問題について、東京で走ることを想定して今まで練習を行ってきた選手にとっては、いきなり開催地を変更するのはあまりにもひどい話だと思った。(総合情報学部3年次生)

マナーが悪くなったり、問題が起こらないか心配だが、日本を訪れる外国人が日本のことを好きになって帰ってほしい。(社会学部4年次生)

世界全体がスポーツで盛り上がることのできる大会だと思う。現地に行って独特の雰囲気の中で観戦してみたかったが、チケットは2次抽選も外れてしまったので、家でテレビ見ようと思っている。(文学部2年次生)

オリンピックを通してより多くの世界中の人に日本について知ってもらいたい。文化や考え方もっと触れてもらい、日本について理解してもらえたらうれしい。(理工学研究科M1)

日本で開催されるというのはとてもありがたいことだが、災害大国であり、いつ大地震が起きてもおかしくない日本で開催するのはリスクが高いのではないかと考えてしまう。(社会学部4年次生)

最初から東京の気候では難しい競技を別会場とし、ラグビーW杯のような方式にすれば日本全体が盛り上がり、かつ渋滞のような負の影響も分散し緩和できたのではないかと考える。(理工学研究科M1)

経済効果は大きいと思うが、ホテル等海外からの旅行者の滞在する場所が足りないことが深刻な問題であると考えている。(法学部4年次生)

よくネット上ではここ最近の不祥事などを取り上げ、オリンピックを開催すべきではないとの意見を見るが、開催が目前まで迫っている以上、いかに良い大会にするかを考えるべきだと思う。(社会安全学部1年次生)

オリンピックが終わった後の日本はどんな方向に向かうのだろうか、と考えることがたまにある。(政策創造学部1年次生)

世界でスポーツを通して交流し、高めあえることは素晴らしい機会であり、また観戦者にもたくさんの喜びを与えられるから良いものである。(経済学部3年次生)

日本でオリンピックが行われるのはうれしい。何かしらの関わりを持ちたい。(商学部2年次生)

上記以外の意見として、開催時期の問題、熱中症対策、マラソン開催地の変更問題などのことを書かれた意見が多く見受けられました。

## 3. 過去のオリンピックの経済効果

開催年・都市	金額	算出・公表元
2008年北京	約9,600億円(当時のレートで約14兆8,870億円)	野村証券
2012年ロンドン	約165億ポンド(当時のレートで約2兆680億円)	オクスフォード・エコノミクス
2016年リオデジャネイロ	約900億リアル(当時のレートで約4.2兆円)	ブラジルスポーツ省
	約300億リアル(当時のレートで約1.4兆円)	クレディ・スイス

## 4. 2020年の東京オリンピックの経済効果(予想)

公表年月	金額	算出・公表元
2012年6月	約2兆9,600億円	東京オリンピック・パラリンピック招致委員会
2013年9月	約2兆5,000億円	みずほ総合研究所
2014年4月	約19兆3,522億円	森記念財団都市戦略研究所
2017年4月	約32兆円	東京都オリンピック・パラリンピック準備局



### PROFESSOR'S COMMENTS

#### 宮本勝浩名誉教授

関西大学の多くの学生諸君は東京オリンピックを楽しみにしているようですね。さて、オリンピックの経済効果は開催中の国内外の観客による経済効果が大きいと考えられていますが、実は開催前と開

催後の経済効果の方が大きいのです。2012年のロンドンオリンピックについて、「オクスフォード・エコノミクス」は、オリンピック終了までの経済効果の82%は開催前の事業費の経済効果であり、大会中の観客の経済効果はたった12%で、残りの6%は大会運営の経済効果であったと発表しています。そして、オリンピックによるレガシーが後世に大きな経済効果を与えるのです。

1964年の東京オリンピックでは国立競技場や新幹線などのレガシーの経済効果は膨大なものでしたが、東京オリンピックをきっかけに発生したファミリーレストランや警備会社などが日本中に広がり、日本の経済に多大な貢献をしました。私は2020年の東京オリンピックにより、その後AI、ITによる自動運転や遠隔地医療などのソフトが発展して世界の平和と成長に寄与すると期待しています。

## 次回のテーマは…「コミュニケーション能力について」

3月号(卒業記念特別号)では、新社会人となる卒業生に向けて、一般企業などで活躍する先輩から、コミュニケーション能力をテーマにアドバイスをもらいます。

スポーツ業界/コーチ

ウェリントン・カレッジ ラグビーチームコーチ

## 松浦 大輔さん

東海大学付属大阪仰星高等学校出身  
2016年人間健康学部卒業  
2019年人間健康研究科修了

留学経験で学んだ全てを生かし、  
世界一のコーチを目指します。

ニュージーランドのウェリントン・カレッジでラグビーチームのコーチを務める松浦大輔さんは、ラグビーの本場でコーチングについて学んでいます。

ラグビーを始めたのは5歳という松浦さん。その後さまざまなスポーツに挑戦しましたが、中学でラグビーの面白さを再認識し、高校時代は名門校でスクラムハーフとして活躍しました。

大学で専門知識を学ぶうちに、新たなことを学ぶ楽しさを知りました。また、ラグビー指導者のエディー・ジョーンズ氏(W杯日本大会イングランド代表ヘッドコーチ)の本に感銘を受け、著者の考えを深く理解するために関連する参考文献を全て読破。読書嫌いも克服したそうです。その経験から、今まで知らなかった分野まで興味が広がり、勉強が多面的につながっていることを学んだと言います。

一方、体育会ラグビー部員として活躍していた松浦さんは、2年次にオーストラリアにラグビー留学をします。現地では週に2回練習するだけで体力が付き、フィジカルが強くなることを体感。ラグビー強豪国の指導法に圧倒されます。その後、2度にわたる短期留学の経験から、量より質のトレーニング法が日本の子どもの成長につながると感じ、コーチングのキャリアを究めることを決意しました。4年次に、就職するかラグビーコーチの道に進むか悩んだ結果、大学院で研究することを決め、入学後、大学院では、学生の海外留学を支援する「トビタテ！留学JAPAN」を利用して、2017年9月から1年間、ニュージーランドに留学しました。

「ニュージーランドのコーチは、選手一人一人の性格や生活環境を重要視した上で、練習内容やチームの雰囲気など、選手を取り巻くプレー環境を整えていきます。そうすることで、選手全員が各自の性格やプレースタイルを共有でき、強い絆が生まれるのです」と松浦さん。さらに自らコーチングを受けるために Marist St Pats Rugby Football Club で選手になり、大会で優勝も果たしました。留学当初は不安だった英語も、ラグビー仲間と交流する中で上達したそうです。

大学時代は失敗を恐れる性格だった松浦さんですが、留学中に「先のことは考えず、やりたいことは全部やろう」と考え方を変えます。「失敗をするたびに、落ち込むより学べたという喜びを感じるようになり、自然と笑顔になりました」と続けました。

「留学をして、日本の学生は海外に比べて、主体性や学力面で負けていることに気がきました。そのため、これからは日本の子どもたちが主体性を持って活動できるような学校を造るなど、教育面でグローバルに活躍したいです。そして、もう一つの大きな夢は、コーチとして世界一になることです」とこれからの

展望を語りました。

ある1日の  
スケジュール

6:00 起床  
7:00 ジムでトレーニング  
8:30 朝食  
9:00 通訳業務  
14:30 昼食  
15:00 ウェリントンカレッジでの  
コーチング  
17:00 ラグビーの練習  
20:00 夕食  
20:30 帰宅



必須アイテムは、ラグビーボールとホイッスル、そしてタックルの練習に欠かせないヒットシールド。



# Rugby coach

# VIVA!!

# 学び易



国際部

## 「KUGF Field Study (Global Awareness II)」 池田 佳子 教授

### チャレンジ精神を持って多様な文化や考え方を学ぼう。

#### 「地球全体が自分のマーケット」という感覚を身に付けたグローバル人材を育成。

学生の留学および受け入れなど国際交流のサポートをはじめ、グローバル人材の育成、大学の国際化を推進する国際部には、国際教育の専門知識を有する5人の専任教員が所属しています。その1人である池田佳子教授は、英語によるコミュニケーションスキルや異文化適応能力を身に付けることを目的とした「KUGF Field Study (Global Awareness)」の授業を担当しています。

国際部には、日本人学生のグローバルキャリアマインドを醸成するため、英語で学ぶKUGF (Kansai University Global Frontier) カリキュラムがあります。8つの専門分野科目グループと留学準備スキルアップ科目からなるカリキュラムの中に「Global Awareness」の授業があり、共通教養科目として全学生が履修できます。この授業ではCOIL (Collaborative Online International Learning: オンライン国際交流学習) を実践。情報通信技術 (ICT) ツールを使い、海外の学生たちとバーチャルに連携しながら、さまざまな課題に取り組むプロジェクトです。本学は11の国・地域の21大学とネットワークがあり、時差の少ない東南アジア諸国連合 (ASEAN) 加盟国やアジア諸国を中心に実施していましたが、2018年からは文部科学省が推奨する日米関係の構築と強化を主旨とした「大学の世界展開力強化事業」に基づき、アメリカの大学とのCOILを主体的に進めています。

授業では、ニューヨーク州立大学アルバニー校と共同で「学生生活の違い」をテーマにCOILを実施。お互いのキャンパスや施設などを写真や動画を使って紹介し合います。ただし、アメリカは時差が大きいためオンラインでのやりとりが難しく、通話アプリやプラットフォームとなる専用のウェブサイトなどを通して、意見交換を行っているそうです。「外国語を使って外国人と直接コミュニケーションを取る経験ができるのが、この授業の最大のメリットです。さまざまな人種や国籍の学生と実際に接することで刺激を受けてほしい」と池田教授は言います。「周囲と比較するのではなく、自分で決めた目標に対して、プロジェクトを通して、自分なりの理解度を確かめながら取り組んでほしいと思います。教員はその場を提供するのが仕事です」と付け加えます。

「今後はさらに情報もモノも過多の時代になっていきます。選択肢が多い分、何をしたいのかをこれまで以上に考える必要性が出てきます。海外の学生と接し、異文化を理解することで、さまざまな可能性があることが分かれば、自主的に課題を見つけて解決し、必要なものを探し出すスキルが身に付くはず。そのスキルを培うためにも大学を最大限に使ってください。世界に多くの同世代の学生がいるので、地球全体が自分のマーケットという視野や感覚を持ち、地球規模で仲間を作っていくほしいです」と締めくくりました。



#### 奈良風花さん (外国語学部1年次生)

外国語学部では2年次から留学が必修なので、カルチャーショックに備えるために池田先生の授業を履修しました。アメリカの学生とのやりとりはワクワクします。将来の夢は母校の英語の教師になり、COILプロジェクトを導入したいと考えています。



#### 裏部伊吹さん (文学部1年次生)

COILでアメリカへの短期留学ができるため、受講しました。リスニング力の低さがコンプレックスでしたが、自分の能力に合わせて語学力を伸ばせる少人数の環境が合っています。将来は航空会社で働きたいと思っています。



#### 池田佳子 教授

教えてもらうという感覚ではなく、自分で学びを見つけていこうというチャレンジ精神旺盛な学生を募集しています。また、今はそうではないけれど、そんなふうになりたいと思っている人も大歓迎です。海外の学生の考えを理解することで、語学力だけでなく主体的な考え方が身に付くはず。



## 関大スポーツと地域貢献

今月号の特集では関西大学の地域連携活動を紹介しましたが、体育会の各クラブでもかなりの地域貢献活動を展開しています。さまざまなスポーツスクール運営はもちろん、今では子どもたちの夏休みの勉強指導、年末のクリスマスイベントまで、多岐にわたります。

こうした活動の中核となっているのはNPO法人「関西大学カイザーズクラブ」です。関西の大学で同様の組織を作り多彩な活動を続けている例は他にありません。2015(平成27)年、関西大学創立130周年の記念事業として設立され、大学・地域住民・卒業生・保護者らをつなぐ役割を担っています。

例えば千里山キャンパスでは、サッカー、体操、バスケットボール、チアダンス、テニス、高槻キャンパスのアイスアリーナでは、アイスホッケースクールとフィギュアスケートクラブが活動し、毎月約500人の子どもたちが汗を流しています。

最大規模のイベントは、毎年12月に開催される「まちFUNまつりin関西大学」です。地域のためのお祭りで子どもたちや保護者の参加者は約7,000人にのぼります。ミズノ株式会社の協力で開く「ミズノ流忍者学校」では子どもたち400人に学生100人が修行の方法を教えたり、スターバックスコーヒーの協力で「うちカフェパーパードリップ体験」でおいしいコーヒーの淹れ方を親子で学んだり、キャンパスは終日、子どもたちの歓声であふれます。

また、夏休みの8月には関西大学博物館が主催する「キッズミュージアム」に合わせて「体験しよう!スポーツフェスティバル」を開催し、2日間で2,000人を超える子どもや保護者が参加します。カイザーズクラブで開講しているサッカー、体操、バスケットボールのスクール体験やダブルダッチ、ドッジボールなど大学生に教えてもらいながら参加できるスポーツ体験が人気です。



「まちFUNまつりin関西大学」の様子

### 半世紀を超えた野球部と高知県安芸市との“ご縁”

こうした活動はキャンパスの外にも飛び出します。その典型は体育会野球部。毎年3月上旬の約10日間、高知県安芸市営球場(安芸タイガース球場)で春のキャンプを行います。スタートは1965(昭和40)年です。この年、安芸市に新球場が建設され、阪神タイガースのキャンプが始まったのです。タイガースと入れ替わるように、本学野球部がキャンプできたのは、OBで阪神タイガースの往年の名投手・故村山実氏の尽力があったと言われていいます。



安芸市で毎年開いている子ども野球教室

このキャンプから巣立ったのは元阪急ブレーブスの剛速球投手・山口高志氏(現本学野球部アドバイザースタッフ)、元近鉄バファローズの投手・岡本晃氏、阪神タイガースの現役投手・岩田稔氏ら1,000人を超える人たちです。部員が増えるに伴い、受け入れの旅館も数十人が泊まれる大部屋を増築したほど。これに応える格好で、部員も旅館周辺のゴミ拾いや地元の小学生や中学生に野球教室を開くなどの地域貢献に精を出しています。

体育会サッカー部も毎年8月、全部員約200人が千里山キャンパス周辺の町の掃除をします。また昨年10月には京都府八幡市・男山団地で粗大ごみの運び出しを手伝いました。



男山団地で大型ごみの搬出を担当するサッカー部員



社会学部 2年次生

# 久保田 拓真さん

勝利をつかむために必要なのは、自分から動くこと

久保田拓真さんは、体育会野球部で2年次春から正捕手として活躍しています。関西学生野球秋季リーグ戦では4季ぶり37度目の優勝を果たし、自身初のベストナインに選ばれました。その後、全国大会である明治神宮野球大会で準優勝に貢献。高校時代は、三重県の津田学園高等学校で、夏の全国高校野球選手権大会に出場し、甲子園球場の大舞台にも立ちました。

小学1年の時にリトルリーグに所属し、中学のクラブチームでは全てのポジションを経験。高校は野球の強豪校に進学します。2年の時に捕手に専念。「甲子園に出場できたのは、自主性を重んじる部の方針のおかげです。自主的に課題を解決するという自由な練習方法がやる気を生み、向上心につながりました」と久保田さん。高校3年の春の大会では投手との意思疎通がうまくいかず、大事な場面で打たれた経験から、夏の大会までに投手と頻りに話し合いを重ねました。監督から「チームを引っ張ってほしい」とゲームキャプテンに指名されたのは、副キャプテンとしてチームを支えた姿勢が評価された証です。気合十分で甲子園大会に臨みましたが、惜しくも2回戦で敗退。久保田さんは、大学で野球を続けるならば、打撃の強化が必要だということを思い知りました。

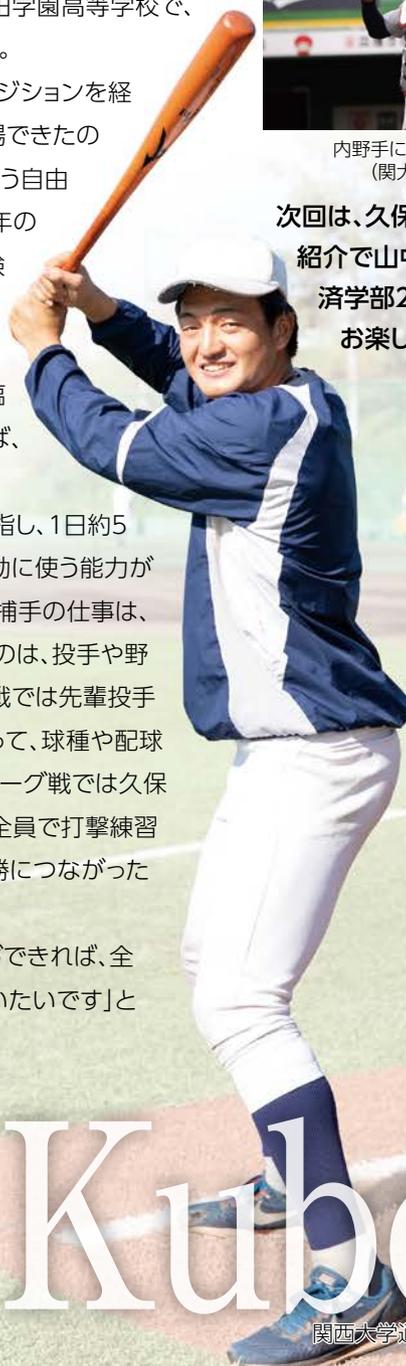
卒業後は、関西大学社会学部に入学し、体育会野球部に入部。日本一を目指し、1日約5時間、週6日の練習に取り組んでいます。全体練習以外は、個人の時間を有効に使う能力が求められるため、高校時代の自主的な練習方法が役に立っているそうです。「捕手の仕事は、試合の流れを読み、自分たちのペースで試合を運ぶこと。そのために大事なことは、投手や野手たちと密にコミュニケーションを取ること」と話す久保田さん。春季リーグ戦では先輩投手に遠慮していたところもありましたが、秋季リーグ戦までの間によく話し合っ、球種や配球も理解してもらった結果、サインも合うようになったと言います。同じく春季リーグ戦では久保田さんもチーム全体も打撃不振だったため、打撃の向上を意識して、チーム全員で打撃練習に打ち込みました。それが功を奏し、秋季リーグ戦では投打が噛み合い、優勝につながったと久保田さんは言います。

「全国大会でも守りでリズムを作り、攻撃につなげられる関大らしい野球ができれば、全国制覇も夢ではないと思います。これからも全国大会に出場し、優勝を味わいたいです」とプロ野球選手を目指す久保田さんは、熱く語りました。



内野手に声をかける久保田捕手  
(関大スポーツ編集局提供)

次回は、久保田さんからのご紹介で山中瑠樹亜さん(経済学部2年次生)が登場。  
お楽しみに!



# Takuma Kubota

# 学部・研究科トピックス

## 法学部／法学研究科

### いよいよ「秋学期試験」が始まります

2019年度の秋学期は、1月6日(月)から授業が再開され、1、2回の講義後、「秋学期試験」が実施されます。春学期試験の成績が良かった学生は、気を抜かないで、その調子でがんばってください。あまり良くなかった学生、特に1年次生は、学習(試験対策)のやり方を改めるなどの何らかの工夫と、より一層の努力をしてがんばってみてください。

全教員が、皆さんに、想い出となる楽しい学生生活を過ごしてほしいと願っていますので、講義や演習の単位は、がんばって修得していきましょう。(副学部長 佐伯和也教授)

## 政策創造学部／ガバナンス研究科

### 早期卒業制度について

2018年度から、政策創造学部からガバナンス研究科への進学希望者に対して、所定の要件を満たす学生には5年一貫で大学・大学院を修了してもらい、つまり3年で早期卒業して学士を取得し、5年目で修士学位(政策学)を授与する制度を導入しました。

導入初年度に、1人の学生がこの制度を活用しており、現在は大学院で勉強しています。この制度を活用して、より多くの学力の優れた学生に大学院進学を目指してもらいたいと思います。

(副学部長 石田成則教授)

## 文学部／文学研究科 東アジア文化研究科

### 2020年度入学生から適用のカリキュラム改正を行います

文学部では、2020年度入学生から適用される、総合人文学科目群のカリキュラム改正を行います。「学問とは何か」「総合人文学と現代社会」「ジェンダーで学ぶ総合人文学」「海外から見た日本」「デジタル・ヒューマニティーズ」「北摂学」など、人文学の基礎や専修横断的な学びを深める科目が順次開講予定です。

多専修から関心のある分野を選択しつつ、異なる領域の学びも経験できるという関西大学文学部の魅力をさらに引き出し、領域横断的な学びを追求する文学部の新たな展開にご注目ください。(学部学生相談主事 井谷聡子准教授)

## 外国語学部／外国語教育学研究科

### 英会話力向上のコツ

日本に長く住んでいる外国人の中には、聞くことには全く不自由はなくても、話すことは完璧ではない方がいらっしゃいます。一方、日本人以上に日本語がお上手で、発音も日本生まれではないかと間違っただけの方がおられます。その秘訣を尋ねてみたところ、「会話のあとで、聞き取れなかったところや言えなかったところを確認したり、表現や発音を間違った場合はそのつど指摘・修正してもらうことだ」と教わりました。皆さんも外国語を学ぶ時は、ぜひこのプロセスを取り入れてみてください。(田尻悟郎教授)

## 経済学部／経済学研究科

### 試験の経済学

もうすぐ秋学期試験が始まります。今学期中に勉強があまりできていなかったと感じている人もいるかもしれませんが、過去の行動はサックリしています。今は目の前の試験勉強に注力し、その反省は次学期に生かしましょう。

試験前の勉強と同様に、試験時間中も最後まで集中して取り組むことが肝要です。期末試験では、途中退出する人が始めると、そわそわして退出する人を見掛けます。早く退出しても成績は上がりません。答案を見直すこととの費用と便益を冷静に判断しましょう。

(教学主任 座主祥伸准教授)

## 人間健康学部／人間健康研究科

### チャレンジキャンパス

9月28日のチャレンジキャンパスにおいて、体験学習エリアにおける実演や、2つのコースと1つのプログラムによる模擬講義を実施しました。限られた時間ではありましたが、「こころ」「からだ」「くらし」を総合的な視点から捉える本学部の特色について、知っていただく機会になったのではないかと思います。

また、当日はたくさんの学部生が協力してくれました。本学部は来年度で10年目を迎える「若い学部」ですが、今後も学生と共に歩んでいく姿勢を大切にしたいものです。

(神谷 拓教授)

各学部・研究科のさまざまな活動や取り組みなど、トピックスや皆さんへのメッセージをお届けします。

## 商学部／商学研究科

### BestAで専門知識と英語を

商学部独自の海外ビジネス英語プログラム BestAの4週間コースと1学期コースがヨーク大学(英国)で実施されました。



ヨーク大学での授業風景

ビジネスの専門科目を英語で学びます。3カ国の留学生と一緒に英語で議論しながら、実践的なビジネス課題をこなし、とても自信がつかえました。(朴 泰勲教授)

## 総合情報学部／総合情報学研究科

### コーディングの勉強の勧め

総合情報学部はマイクロソフト社とAzure Dev Tools for Teachingサブスクリプション契約をしています。

総合情報学部のゼミ所属の学生は、学習や研究活動を進める目的で、Visual Studio Enterprise、SQL Server、Windows 10などのソフトウェアを自分のPCに無料でインストールできます。この機会に、コーディングの勉強を始めてはいかがでしょうか。興味があれば、ゼミ担当教員または高槻キャンパスオフィスにご相談ください。(教学主任 桑門秀典教授)

## 社会学部／社会学研究科

### 卒業論文の執筆に向けて

社会学部では卒業論文の提出が1月となっている関係で、秋学期から追い込みの時期に入ります。この時期は執筆する学生とそれにコメントをする教員の両方も大変なのですが、がんばって卒業論文をしっかりとまとめることができると、お互いに大きな達成感があります。

なお、社会学部では卒業論文の提出後に卒業論文発表会を行っている専攻やゼミもあり、私のゼミでも、4年次生に加えて3年次生のゼミ生も参加できるかたちで毎年行っています。そうした機会をとおして、学年を超えた議論・コミュニケーションが促進されればと思います。(教学主任 赤枝尚樹准教授)

## 社会安全学部／社会安全研究科

### 社会安全学部まもなく10周年!

春に10周年を迎える「社安」は広報に力を入れています。



ラジオ大阪に学生が出演する番組は3月に第100回を迎えます。ゼミ生が記事を書くブログ「社安な毎日」はアクセス急上昇中。教員も負けじと、産経新聞のりレーコラムやNHKラジオの防災インタビューで奮闘しています。(近藤誠司准教授)

## 専門職大学院トピックス

### 臨床心理専門職大学院

#### 心理の専門職を示す資格

これまでの臨床心理士に加えて、新たに公認心理師資格制度が始まりました。心理の資格が社会的に認知され、需要が高まり、それが国家認定の資格にまでなったものであり、今後の推移が注目されます。そういう状況のなかで、資格を持った心理の専門家は、臨床心理学や心理臨床を固有性を持った学問、専門的職業として確立するための努力が求められます。一部には、心理臨床を医療の一部として見る動きがありますが、心理臨床、特に心理療法やカウンセリングは、先人たちの尽力によって精神医学とは異なる営みとして発展してきたことを忘れないようにしてください。(心理学研究科長 中田行重教授)

## 併設校トピックス

### 関西大学中等部

#### カナダ研修

「到着した時は不安で早く帰りたいと思ったけど、今はもっといたい」ある生徒の言葉です。10月23日～31日、中等部3年生は7泊9日のカナダ研修に行きました。



班別フィールドワーク。生徒1人1家庭でのホームステイ。異文化コミュニケーションの難しさと楽しさを学びました。現地交流校でのJapanese Culture Festivalでは日本文化を紹介。折り紙や浴衣の着付けなど、英語での説明に奮闘しました。

経験が生徒の視野を広げ、人間的成長につながったようです。

(教頭 明神克弘教諭)

## システム理工学部・環境都市工学部・化学生命工学部／理工学研究科

### 秋学期の集大成

1月は試験のシーズンです。「計画的に試験準備を…」と思いつつも「直前で一夜漬け」となる学生諸君が多いのではないのでしょうか。今年こそ、ぜひ、計画的に。4年次生にとっては、卒業論文をまとめる集大成の時期です。2月には卒業研究発表会も



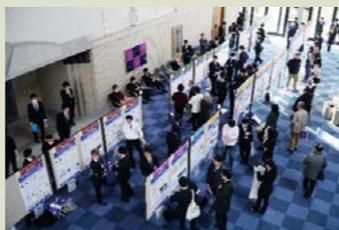
昨年度の卒業研究発表会の様子

控えています。1年間の努力の成果を立派にまとめあげてください。

### 先端科学技術シンポジウム

第24回目となる関西大学先端科学技術シンポジウムが1月23日(木)、24日(金)に100周年記念会館において開催されます。今年は、「いのち輝く未来社会への貢献—多様で健康な生き方の追求—」のテーマのもと、最先端の科学技術に関する研究成果が発表されます。

シンポジウムには日本全国の大学教員、研究機関や企業の研究者が集まり、研究領域の垣根



昨年度の先端科学技術シンポジウムの様子

を越えた交流がなされます。理工系学部の多くの教員・学生も参加し、日ごろの研究成果を発表します。

(システム理工学部入試主任 松本亮介教授)

## Attention 大学からの重要なお知らせ

### 春季休業期間中の注意事項

—有意義な春休みを過ごすために—

秋学期試験が終了すると春季休業に入ります。学生の皆さんは、サークルやアルバイト、国内外への旅行など行動の範囲が今まで以上に広がることでしょう。しかし、同時にこの時期は、日常生活からの解放感とそれに伴う気の緩みが相まって、さまざまなトラブルに遭遇しやすくなる時でもあります。

貴重な春休みを有意義に過ごし、新学期または新生活を迎えられるよう特に次の点に注意するようにしてください。

#### 悪質商法に注意!

昨今、全国各地の大学生の間で実際はどの価値もない商品やサービスを高額で購入させる悪質商法(ネットワークビジネスなど)が流行しています。たとえ親しい友人や知人から勧誘を受けても、少しでも怪しいと感じたら安易に応じないようにしてください。

#### 関大生としての自覚を忘れずに!

サークルやゼミ、親しい友人らとの旅行やコンパなどを開催した際は、周囲の人々や環境への配慮を怠らないでください。誰か一人の軽薄な行為によって、大学の名誉や信用を失墜させる事態を招く場合もあります。関大生としての自覚を忘れず、良識ある行動を心掛けるようにしてください。

#### 薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」

昨今、若者の間で大麻による検挙者が急増し、深刻な社会問題となっています。大麻・覚せい剤といった違法薬物や危険ドラッグを安易に使用することは絶対にしないでください。あなた自身の健康や健全な学生生活を守るためにも、薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」

#### 春季休業中の海外渡航時の注意

昨今の治安情勢を踏まえ、海外渡航前・滞在中は常に「自分の身は自分で守る」という心構えを持って、外務省「海外安全ホームページ」から最新の情報を入手し、不測の事態に巻き込まれないよう安全対策に努めてください。

## 関大トピックス

## 野球部が明治神宮大会で準優勝

関西学生リーグを4シーズンぶりに制し、関西地区第1代表として第50回明治神宮大会に出場した本学は、金沢学院大と東海大に勝ち、47年ぶりに決勝戦に進出しました。

11月20日の決勝戦の相手は慶応義塾大。初回に先制を許し、終始追いかける厳しい展開となりました。それでも、応援団や観客からの素晴らしい声援を受け、選手たちは粘ります。残念ながら0-8で敗れましたが、健闘を続けた選手たちには、スタンドから惜しみない拍手が送られていました。



勝負強い打撃が光る関本英菜さん(政策4) (写真提供:日刊スポーツ新聞社)

## 弓道部が全日本学生王座決定戦で準優勝

9月8日に開幕した関西学生1部リーグ戦(男子)は、全日程を終了して本学と京都橘大が3勝1敗で同率となり、10月20日に順位決定戦が行われました。リーグ戦では同大学に敗れているだけに、必ずリベンジと意気込む選手たちはチーム一丸となり133-122で勝利を収め、実に26年ぶりとなる優勝を本学にもたらししました。

この後、関西代表として第67回全日本学生王座決定戦に出場し、31年ぶりに決勝戦に進出しました。決勝戦は法政大に134-145で敗れ、惜しくも日本一を逃しましたが、古豪復活ぶりを印象付けました。



26年ぶりの関西リーグ優勝で喜び部員たち (写真提供:関大スポーツ編集局)

## オリンピックメダリストの樋口黎さんがレスリング部を練習指導

11月14日から4日間、リオオリンピック・レスリング57kg級銀メダリストの樋口黎さんが本学を訪れ、体育会レスリング部の練習を指導しました。大阪府出身の樋口さんは、国民体育大会では大阪府代表としても活躍され、本学レスリング部OBとの交流もあり、今回の練習指導が実現しました。

初日にはテレビ番組の取材も入り、部員たちは少し緊張した面持ちで練習に臨んでいました。オリンピックメダリストからの助言や指導を受けるという貴重な機会を通して、個々の競技能力の研鑽に励みました。



樋口黎さん(1列目左から3人目)

よもやまばなし  
関大人 四方山話 ◆「蝉鸣声中结下的友谊」「蝉時雨のなかで結んだ友情」 社会学部教授 劉雪雁 (日本語版)



31年前的暑假，在北京刚开始学日语的我，有机会和来自东京的大学生访华团一起参观游览。访华团的日本大学生与我同龄，虽然是中文专业，但口语水平还不太高。初次见面时，简单寒暄之后大家都不知道该说些什么，只得不好意思地默默相视而笑。这时，耳边传来阵阵蝉鸣。“这个，用日语怎么说？”“SEMI。中文呢？”“chan”……我们就这样磕磕巴巴地聊了起来。日本学生们回国后，一直和我保持通信。在没有互联网的时代，书信是我们了解双方生活，加深理解的宝贵媒介，那时结下的友谊也持续到今天。

去年暑假，我带自己的学生去北京时，安排他们和学日语的中国大学生交流。大家都喜欢动漫，马上就聊到一起，成为SNS上互相关注的朋友。希望新时代的友谊也能长久。

31年前的夏休み、北京で日本語を勉強し始めた私は、東京から来た大学生訪中団と一緒に観光地を回る機会に恵まれた。相手の日本人学生たちは私と同じ年で、中国語を専攻していたがまだそれほど上手に話せなかった。初対面の時、簡単なあいさつをした後に何を話せば良いかわからず、互いにはにかんだ笑顔を見せ、黙り込んだ。その時、降り注ぐ蝉の鳴き声が聞こえてきた。「これ、日本語で何というか?」「セミ。中国語は?」「chan」……たどたどしい日本語と中国語を使って、私たちの話がどンドン弾んでいった。日本人学生たちは帰国後も、私と文通を続けた。インターネットがまだなかった時代に、手紙は双方の日常を伝え、理解を深める貴重なメディアとなった。その時に結んだ友情が、今にも続いている。

昨年の夏休み、ゼミ生たちと北京合宿に行った時、日本語を勉強している中国の大学生との交流会を行った。マンガやアニメなど共通の話題があり、学生たちはすぐに打ち解け、SNSでフォローし合う友だちとなった。新しい時代の友情も長く続いてほしい。

## 編集後記

2020年は東京五輪の年。五輪で思い出すのは2012年の開催地選考のこと。開催を希望する都市の中、1次評価では最上位のパリでしたが、IOCの現地視察の際、パリはストの真っ最中で、あえなく落選。平和の祭典である五輪は、開催される地域と密接に連携する必要があります。東京五輪でも会場選びからボランティア動員まで問題が山積みですが、開催地の意見をしっかりと反映し、参加者が開催地を満喫できるような五輪になればと思います。そして東京の後は悲願のパリ五輪。うまくバトンタッチできますように。

(広報委員・外国語学部准教授 田島義士)



## 関西大学通信 “KANDAI STYLE”

発行日:2020年1月10日

発行:関西大学広報委員会

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35

電話:06-6368-1121(大代表)

## 今月の表紙

第50回記念明治神宮野球大会で準優勝した体育会野球部

写真提供:日刊スポーツ新聞社、関大スポーツ編集局